

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.5
平成26年6月2日

学校訪問を終えて

5月29日(木)、学校訪問がありました。これは、1年に一度、どの学校においても行われるもので、児童・生徒の授業の様子や活動の様子、学校の取組等について、来校者(海部地方教育事務協議指導員、教育委員会)からご指導いただくものです。

新生桜小学校の様子について、来校者から次のようなお褒めの言葉をいただきました。これを励みに、さらに素晴らしい桜っ子を育てていきたいと思えます。

- ・ 非常に落ち着いた雰囲気、身を入れた授業が展開されている。
- ・ 掲示等の教室環境は、細やかな配慮が行き届いている。
- ・ 学習規律等の指導の徹底が、子ども達の姿に表れている。
- ・ 全学年に渡って基礎・基本的な指導の積み重ねがなされ、よき伝統として引き継がれている。
- ・ グループ学習やペア学習の取り組みがなされ、言語活動、コミュニケーション活動の充実に力が入れている。
- ・ 挨拶・返事・学習姿勢が良い。
- ・ 靴箱の整頓がなされ、靴が整然とそろっている。

努力は人を裏切らないー自分の心の底から願いをもって (全校朝礼の話より6/2)

「努力は人を裏切らない」「努力に勝る才能はない」「継続は力なり」「練習は嘘をつかない」というような言葉が示すように、努力の大切さは、昔から多くの人が説いてきました。しかしながら、いくら努力しても、「本当に自分からこうしたいんだ」という心の底からの願いでなく、「努力=まじめにしなくてはいけない、辛くても我慢してやらなければならない」というようなニュアンスでの努力であったならば、いくら時間をかけて、やみくもにやっても効果は期待できないように思います。

自分の立てた目標に向かって、自分の心の底から願いをもって行う努力であってほしいと思います。自分の心の底から願いをもって努力をしたときには、苦勞を感じないばかりか、楽しさも実感できるものです。

今年度から4年生以上の児童の全員参加を原則として陸上練習に取り組んできました。先日、選手発表をしましたが、その後も、多くの子が練習を続けてくれています。その中には、「ぼくは、最後まで100mの練習をします。自分の目標があるから」「わたしは、記録が伸びてきて嬉しいです。最後までハードルの練習を続けて自己記録を伸ばします」「そんなに良い記録ではないけれど、練習をしていて楽しいです」と、感想をもらしている子がいることを担任の先生から聞きました。

このように自分の目標に向かって、心の底から願いをもって続けていく努力こそが本当の努力であると考えます。こうした努力の楽しさに気付いた、桜っ子に拍手を贈りたいと思います。

